

活動報告書

1 団体名 灯
2 活動内容 本団体は「また来たいと思える場所」をモットーに学校や家庭とは異なる子どもたちの第3の居場所として、子ども食堂を運営した。 目的：子どもたちだけでなく運営する学生も含めたみんなの居場所、自分自身を見出せる場所を一緒に作る。 活動内容：毎週日曜日、亀の甲広場にて小学1年生から6年生を対象に子ども食堂を開き、子どもたちの居場所づくりを目的に大学生と一緒に遊ぶ。今年度は未就学児の参加もあった。お昼には作った料理を子どもたちと一緒に食べる。月ごとに様々なイベントも行う。例えば1カ月に一度誕生月の子に向けてケーキを作る。また子どもたちが楽しめるイベント企画も行っている。今年度は計18回イベントを開催し、他団体とのコラボなどを通じて普段の子供食堂では提供できないような経験を届けることができた。
3 活動期間 令和7年6月11日から令和8年3月31日まで
4 活動実施内容 毎週日曜日の午前10時から午後2時までとし、亀川地域の子供たちを対象に亀の甲広場を会場にして実施した。 運営はAPUの学生が主体となって行い、昼食をともにしながら屋外での遊びや屋内での工作、お絵描きなどの活動を実施した。 季節ごとのイベントや地域の活動者とのコラボレーション企画も行い、子供たちにとって日常とは異なる多様な体験の機会を提供することができた。開催日数は6月22日から3月29日まで（年始は除いた）合計40回開催し、参加者数はのべ262人であった。
5 活動の成果 本活動を通じて子どもたちは日常生活では関わる機会の少ない大学生と交流し、また学年を超えた新たな友人関係を作ることができたと考える。これにより子どもたちにとって社会的な交流の場となり成長につながった。保護者からは「一日中家にいるのではなく、外で安心して遊べる場所があることが助かっている。」といった声が寄せられ、子育て世代の支えとなっていることが確認できた。
6 反省点や今後の目標 学生の長期休暇期間において、スタッフの確保が十分にできない場面があった。今後は学生スタッフ間で子供に関する知識や理解を深める機会を設けることで、子どもへの関り方の質を向上させ、より安全で安心できる居場所づくりを目指す。